



今帰仁村

議会だより



私は渡喜仁の與那嶺家(猛七屋：モウシチャー)の五男として生まれ、小さいころから農家の子として牛や豚、馬など家畜と接して育ちました。東京農業大学畜産科を卒業後、今帰仁村農業協同組合(沖縄県農業組合の前身組織)に就職し、父が飼っていた闘牛の世話を手伝いながら、自分の牛を飼うようになりました。25歳のときから闘牛熱が高まり、これまで数多くの牛を育ててきました。多いときには7頭を飼っていたこともあり、毎日が闘牛と共にある日々でした。現在では、全島闘牛大会に出場する牛を飼育するまでになり、現在は闘牛候補の牛2頭と闘牛1頭、合わせて3頭を家族で飼っています。私は主に草刈りや体調管理を担当し、息子の篤希が牛の運動や餌の担当をしています。牛も家族の一員として大切に育て、大会で優勝できるよう日々励んでいます。今後も沖縄の闘牛文化の継承と発展のために頑張っていきますので、応援よろしくお願いいたします。(與那嶺篤哉)

R7

No. 180

12.1 発行

一般質問と答弁 2p

議決結果・賛否一覧表 ... 10p

研修等 11p

議会報告会のお知らせ・編集後記 ... 12p

一般質問

9月定例会

会期日程（9月9日～19日）

7名が一般質問しました 9月16日(火)・17日(水)（通告順）

3p	座間味 靖	<ul style="list-style-type: none"> ① ヒージャーガー周辺の整備について ② 村営グラウンドについて ③ 和泊町・知名町との交流について ④ 学校の現況について
4p	島袋 輝也	<ul style="list-style-type: none"> ① 保健・医療・福祉の充実について ② 村の自然景観の保全について ③ 村の有害鳥獣対策及び害虫対策について ④ 第27回参議院選挙について
5p	石嶺美奈実	<ul style="list-style-type: none"> ① 参議院議員通常選挙における投票時間繰り上げについて ② 今帰仁の【スイカ】について ③ 循環型社会形成推進地域計画について ④ 村内における土地・住宅価格の高騰と空き家対策について ⑤ 水道水に多く含まれる石灰について
6p	與那 勝治	<ul style="list-style-type: none"> ① 学校給食について ② リカリカワルミ道の駅登録について ③ 村営パークゴルフ場について
7p	島袋 誠	<ul style="list-style-type: none"> ① 教育行政について ② 観光振興について
8p	根路銘弘美	<ul style="list-style-type: none"> ① 妊婦のケアについて ② 特定健康診査について ③ 今帰仁村内の美しい浜の景観保持について
9p	座間味 薫	<ul style="list-style-type: none"> ① 自動車管理規程について ② 平和の森公園について ③ 里道について

●の数字は掲載された質問です。●の数字の質問は紙面の都合上割愛されています。本会議録については各字公民館に配布の予定です。詳しく調べたい方は、公民館もしくは議会事務局までお立ち寄りください。

問1 ヒージャーカー周辺の整備

ヒージャーカーとウツパマの間にホテル建設が計画されており、今後、観光客が増える予想される。ヒージャーカー周辺の整備について以前にも質問したが、今回、県や事業主と連携し整備する良い機会だと考えるが、見解を伺う。

答 久田浩也村長

ヒージャーカー周辺の整備については、ホテル建設の動向を注視するとともに、必要に応じて県や事業主などと連携・確認を行っていく。

問2 村営グラウンド

今回、村陸上大会を村民運動場（ホッケー場）で行



座間味 靖 議員

うと聞いているが、毎年そこで行う予定なのか伺う。また、村民運動場を村営グラウンドに整備し、現在の村営グラウンドは今帰仁小学校の運動場にしてはどうかと考えるが見解を伺う。

答 上間久仁教育長

村陸上競技大会を令和7年度から村総合運動公園内で開催することについては、地域のスポーツ振興を一層進める観点から、最も適切な運用を確保するための決定であると認識している。大会の主催は従来どおり村体育協会が担っており、次回以降の開催も協会が行うと理解している。村民運動場の整備については、引き続き補助事業等の活用を調査・研究していく。「現在の村営グラウンドを今帰仁小学校の運動場にしてはどうか」については、関係機関と調整し、協議していく。



問3 和泊町・知名町との交流

令和2年（2020年）今帰仁村・和泊町・知名町友好都市締結調印式・祝賀会が行われている。現在、両町との交流が下火になっていないのかという声があるが、見解を伺う。

答 村長

現在、村児童生徒相互交流事業や、給食食材交流などが行われている。

問 今回の村まつりに知名町から5名の議員が訪れ、以前のような交流が復活できないかということであったが、どのように考えているか伺う。

答 比嘉克雄副村長

交流が進んでいない状況であるということは認識をしている。協定書の中には両住民の交流を通して、有効な関係を深め活性化に寄与することを掲げている。交流の主役は住民であると

考えており、今後、持続可能な交流でなければいけないと思うので、効果的なプログラムをどのように企画していくのか、しっかりと調査・研究をしていく必要があると考えている。

問4 学校の現況

①児童・生徒の不登校状況はどうなっているか伺う。
②前回の一般質問において、3名の支援員が不足しているとおったが現在はどうなっているか伺う。
③まだまだ暑さが厳しい状況である。暑さ対策（熱中症対策）はどのように行っているか伺う。

答 教育長

①令和7年7月1日現在22名となっている。
②現在の支援員配置については、特別支援員が兼次小学校、天底小学校で各1名、今帰仁中学校で2名、計4名の欠員となっている。
③熱中症計や給水キーパーの設置、飴等の提供、屋外活動

の時間制限、教員等による声かけなど、養護教諭の指導の下、適切な対応に努めている。

問 今帰仁中学校が2名欠員、天底小学校、兼次小学校が1人ずつの欠員とのことだが、今後どのような対策を取るのか伺う。

答 学校教育課長

欠員の対応については、包括業務委託で業者が雇用を担っているため、随時、教育委員会も情報交換しながら、適正人員が確保できるように対応していきたいと考えている。

問 各学校、各教室にエアコンが入っているのか伺う。

答 学校教育課長

各学年、クラスについては設置されている。一部特別教室、特別教科については、まだ設置がなかったかと思うが、確認して連絡する。



島袋 輝也 議員

問1 保健・医療・福祉の充実

高齢化が進む本村では、独居や高齢者のみ世帯が増え、通院に付き添う家族がないという声がある。現行制度は病院への送迎は対象。診察室内の付き添いや薬の受け取りは対象外。こうした制度の谷間が受診控えや医療中断を招き、健康悪化や入院リスクにつながる。「通院付き添い支援」を在宅医療・介護連携の一環にする必要がある。①課題の把握状況②制度外となる診察室内付き添いの認識③モデル事業実施の可否を伺う。

答 村長

①高齢者の「通院付き添い支援」の課題は、要介護1～5の認定の方は、介護保

険サービスの「通院介助」等の利用が可能。村内及び近隣地域に同サービスを提供できる事業所がないことが課題。②介護保険や障害福祉制度の対象外となる「診察室内での付き添い」は、病院内での介助は医療保険サービスの該当。介護保険の支援サービスは難しいと考えている。③在宅医療・介護連携の一環として、「通院付き添い支援モデル事業」は、財源確保や制度設計、関係機関との連携等の複雑さから一定数の職員配置が不可欠であり、モデル事業は考えていない。

問2 自然景観の保全

近年リゾート開発により海岸線が変わり、農地の荒廃や耕作放棄地拡大、墓地造成等により、景観が損なわれるリスクが高まっている。①国土利用計画、墓地等管理計画、景観計画を統合した「土地利用・景観ビジョン」の運用、個別の計画に係る課題をどう調整し

ているか伺う。②営業行為や車両乗り入れ、ごみ問題などを規定する「海浜条例」を制定し、総合計画・景観計画と整合性を図る考えはないか伺う。③景観保全は、住民や事業者の協力が欠かせない。補助制度や景観を守り維持する協定を導入し、住民や事業者との協働で景観を守る必要がある。見解を伺う。

答 村長

①現在第5次総合計画の目標に即して一体運用し、課題は関係課で共有。②「海浜条例」の制定は、現時点で条例制定は考えていない。他市町村や関係機関等の情報収集に努める。③地域の良好な景観の形成及び保全を目的とする活動等に助成する制度は整備済み。

問3 村の有害鳥獣対策及び害虫対策

イノシシやカラス、マンガースに加え、セグロウリミバエによる被害も懸念されている。被害把握と対策

強化を伺う。

答 村長

イノシシは、仲尾次から今泊の山側にかけて目撃されている。被害状況は、芋類の被害報告が多い。農家や関係団体と連携を図り、専門家の指導のもと捕獲体制の強化に努める。カラス対策は、北部地域一斉の駆除活動を毎月実施。被害情報があると、関係団体と連携し、捕獲駆除や発砲による追い払いで対策。マンガースについて、主にパイナップルの被害報告がある。対策は箱わなを設置し、捕獲に取り組んでいる。セグロウリミバエの対策は、令和6年3月に本島北部で初確認



与那嶺の山で発見されたイノシシ

以降、国や県など関係機関と連携を図り、誘殺板設置や薬剤散布、県外出荷時の検査を行っている。

問4 第27回参議院選挙

村において、参議院選挙の投票時間を1時間短縮した経緯及び判断理由。期日前投票の実施時間との整合性について説明を求める。

答 選挙管理委員会書記長

参議院選挙で投票時間を1時間短縮した判断理由は、19時から20時の投票者数は減少傾向にあること。また、期日前投票制度が普及していることが主な理由。令和7年2月開催の村選挙管理委員会定例会で第27回参議院選挙の1時間繰上げ閉所を決定した。期日前投票の開閉時間は、公職選挙法で定められており、午前8時30分に開き、午後8時に閉じる。執行日当日の投票所開閉時間も法の定めによる。整合性に問題はないと認識。



石嶺 美奈実 議員

1 参議院議員通常選挙における投票時間繰り上げ

投票時間の繰り上げ判断を2月18日に行ったと回答があったが、記録簿に記録がなかった。いつ議論が始まり、どのような議論を経て実行に至ったのか、なぜ記録が残っていないのか伺う。

答 選挙管理委員会書記長

投票時間について、過去に村で執行された選挙で課題とされていたこと、県市町村選挙管理委員会連合会事務局長会議でも議題に上がっていたこと等を踏まえ、令和7年2月開催の村選挙管理委員会定例会において、第27回参議院選挙は、1時間繰り上げ閉所を前提に選挙準備を進めることで決定。村選挙管理委員会の定例会における記録は、「要約形式」で記録簿として整理している。令和7年2月開催の村選挙管理委員会定例会

では「繰り上げ閉所の実施」と「第3投票所の場所変更」が主たる議題であった。県市町村選挙管理委員会連合会事務局長会議の内容確認時に決定されているが、その旨の記録がなされていないと認識している。

問 今後、大事なことは記録簿に記録を残していただきたい。

答 選挙管理委員会書記長

事務局をあくまで担当として、しっかりと対応したい。会話形式の議事録等も検討していきたい。特にこのような大切なことの決定については、透明性を持つために努めていきたい。

問 公職選挙法第40条に「選挙人の投票の便宜のため必要があると認められる特別の事情のある場合又は選挙人の支障をきたさない」と認められる特別のある場合に限り」とある。今回の「特別の事情」は何か伺う。

答 選挙管理委員会書記長

19時から20時の投票者数は減少傾向にあること、期日前投票制度が普及していることが主な理由。

問 令和6年度県議会議員選挙、村長選挙、衆議院議員選挙で、19時から20時の投票者数、投票時間の繰り上げの根拠となった数字を伺う。

答 選挙管理委員会書記長

県議員選挙1:47%、村長選挙2:27%、衆議院選挙1%となっている。

投票時間繰り上げの根拠となった
令和6年度に行われた選挙の投票率と投票者数
(有権者数・投票者数は議会後問い合わせし確認した数字)

選挙名	今帰仁村の有権者数	19:00~20:00 投票率	19:00~20:00 投票者数
R6.6.16 沖縄県 議会議員選挙	7,612人	1.47%	112人
R6.8.11 今帰仁村長選挙	7,498人	2.27%	170人
R6.10.27 第50回 衆議院議員選挙	7,572人	1%	76人

2 今帰仁のスイカ

糖度センサーが村内に2機あるというのは、ほかのスイカの産地と品質の差別化を行う上で非常に恵まれた環境。今帰仁のスイカの存在感を向上していく方法として、品質の規格を定め、品質の高いスイカの生産を支援していくことも効果的だと考えるが、見解を伺う。

問 村長の実体験どおり、冬場は今帰仁村のスイカがスイカ市場を独占できる可能性を秘めている。実際に今、北海道でスイカが大変よく売れるそう。今帰仁村の冬のスイカが日本国内の冬のスイカ市場を独占し、全国にPRする最大のチャンスではないかと考える。だが現状、冬場にスイカをつくることは、ミナミキイロアザミウマの影響から控えていたり、作っていない農家もいる。作ってもほぼ収穫につながらない現状がある。しかし、冬のスイカは、一度力を入れて挑戦してみる価値があると思う。しっかりとミナミキイロアザミウマ対策を行い、冬に売上げを上げていく。この提案について見解を伺う。

問 村長の実体験どおり、冬場は今帰仁村のスイカがスイカ市場を独占できる可能性を秘めている。実際に今、北海道でスイカが大変よく売れるそう。今帰仁村の冬のスイカが日本国内の冬のスイカ市場を独占し、全国にPRする最大のチャンスではないかと考える。だが現状、冬場にスイカをつくることは、ミナミキイロアザミウマの影響から控えていたり、作っていない農家もいる。作ってもほぼ収穫につながらない現状がある。しかし、冬のスイカは、一度力を入れて挑戦してみる価値があると思う。しっかりとミナミキイロアザミウマ対策を行い、冬に売上げを上げていく。この提案について見解を伺う。

答 村長

問 全国で沖縄のスイカが市場をほぼ独占できる可能性を秘めている時期がある。春、夏、冬の時期だと思ふか。

答 経済課長

いま一度、関係者の皆様とどういった対策が有効・可能か話し合いの場を持ち、取組を検討できればと考えている。

答 村長 昨年1月、旭川市に赴きスイカのPRを行った。「本当にこの時期のスイカがおいしいのか？」と旭川市の方々のお尋ねもあったが、試食後、「非常においしい」という評価をいただいたので、個人的には冬も良いと思っている。試食したほとんどの方が購入して帰られた。今後もスイカの商品化支援、ブランド力向上を意識つけてPR活動に鋭意努力していきたい。



問1 学校給食

夏休み前の2025年7月の新聞記事によると「沖縄県内の中学校給食の摂取カロリー、国の基準達成はゼロ 小学校も1村だけ」とあった。全41市町村の一覧表を見ると、本村も基準を満たしていない自治体となっているが、事実関係は。

答 教育長

提供した給食量から残食量を差し引き、実際に児童生徒が摂取した量のカロリーが報告された記事と認識している。

問 県平均でカルシウムや鉄なども不足している。学校給食課長は先ほどタンパク質、炭水化物も足りていないとあった。

答 学校教育課長

足りない栄養素としては炭水化物とタンパク質、鉄、ビタミンAがある。

問 調査結果を見ると、食べ残しの影響で摂取カロリーが基準値を満たしていない。

食べ残しの多さによる栄養不足を補うには単に献立を工夫するだけでは子どもたちが食べたいと思える工夫にならない。給食の魅力を上げ、食べ残しを減らす取り組みを考えているか。

答 学校教育課長

今後の対策として、出汁の取り方でうま味を感じてもらおうような工夫をしていきたい。

問 「今帰仁の給食にはおいしい理由がある」というコンセプトの下、給食改革をすればいいのではないか。

地元食材を生かし、シェフ等と共に子どもたちのためにだけに考案した特別なメニューを開発し、栄養も見つめ、味も満点を狙います。

これが今帰仁村の給食食べ残しゼロにつながるのではない。イメージを持つて食べ残しをさせない戦略、残食率を引き下げる取組。新聞にここまでたたかれたからには、やってやろうという気持ちで取り組まなければいけないと思うが。

答 学校教育課長

提案ということで受け止めて、今後に活かしていきたい。

問 新聞に書かれた以上は、話題性を持つて返してあげる。給食日本一を掲げて取り組むぐらいの姿勢じゃなければいけない。食べるというのは体をつくる基本的なところで、将来の健康を支える生活習慣を育む。昨今の食べ物という添加物が多い。この給食を通して、何をどのように食べるか、学ぶ機会も重要ではないか。

これは健康づくりのみならず、将来的な医療費削減など社会的効果にもつながると考える。食品添加物を継続的に摂取し過ぎると、腸内環境が悪化、肥満や生活習慣病のリスク増加、発がん性物質の生成、特定添加物によるアレルギーや肌荒れ、精神面への影響、さらに複数の添加物の複合的な影響が懸念される。添加物を1回摂ったから何ではなく、摂り続けることが駄目。日頃の食べているものから意識づけをし、家族ぐるみで健康についても取り組まなければならないと思うが。

答 教育長

食べることで体がつくれるということは、特に子どもたちにとって大変重要なことだと認識している。

給食センターとして、子どもたちからのリクエストメニューや絵本に出てくるメニューで好きなメニューは何かといったような投票で子どもたちが給食メニューを決めるような取り組み。それから沖縄県で初、人気のアイスクリームガリガリ君を給食に提供したというのも新たな取組で、一生懸命

子どもたちに食べてもらうというきっかけづくりを行っている。今後も議論を重ね、学校側や家庭も連携しながら食育の推進に努めたい。



問2 村営パークゴルフ場

健康づくり、交流、高齢者福祉・予防医療の観点から場所の確保が急務と考えるが、村の見解を伺う。

答 村長

用地確保に向けて、関係者との協議を深め、進めている。



島袋 誠 議員

問1 教育行政

①北山学園構想のもと高校魅力化プロジェクトと連携を行い、2016年から開始した公営の夢咲塾が10年目となった。これまでの成果・課題、今後の展望を伺う。
②村における教育の核となっているキャリア教育のさらなる拡充を図っていく計画はないか伺う。
③現在村内小、中学校では、登校の手段として、主に保護者による車での送迎と徒歩での手段がある。小学校も中学校のように自転車での登校を認めてもらいたいとの声も上がっている。見解を伺う。

答 教育長

①成果としては令和6年度までに国公立大学32名、私立大学64名、専門学校など22名の

問

キャリア教育の拡充として

定である。

今後の方向性について、キャリア教育も含め夢咲塾についても検証しながら、今後の体制についてどう進むべきかとしてしっかり整理しながら、方向性を見出していく予定である。

答 学校教育課長

夢咲塾の今後の方向性としては、現状の方向で進んでいくか、それとも方向転換の可能性があるのか。

進学実績。また、キャリア連携として、国政策甲子園で2位、高校生みんなの夢AWARD in 大阪関西万博においてのグランプリ受賞がある。課題としては、待機受講生対応や中学校での塾の再開がある。今後の展望として課題の改善及び解消に向け成功事例等を調査研究し、体制強化に努めていく。②これまでの取組をフィードバックし検証する計画である。③安全性の確保、保護者及び関係機関と合意の下に導入する必要がある。

答 学校教育課長

地域コーディネーターの増員、外部委託については相手方との調整が必要である。まずは現在関わっている担当者も含めた確認、調整になる。

委託となれば公募も含めて課題と捉えている。その辺りも含め、今後の体制について調査研究をしていきたい。

問2 観光振興

①今年7月25日に開業したジャングリア沖縄の影響もあり、村の知名度、期待も高まっている。様々な取組で住民や旅行者が不安視していたオーバーツーリズムの問題は最小限に抑えている。さらなる観光振興の発展の起

て、現在1名体制で行っている。2名とは言わないが、週に何回か一緒にできる人材をつけていただけないか。また、個人の力量に頼るのではなく、外部委託などでノウハウを継続できる形にできないか。

点となると考えるが、今後どのように活かしていくか伺う。②2012年に任意団体として設立され、2015年に一般社団法人化した村観光協会と本村はどのような連携をとり、どのような役割を担っているか伺う。

答 村長

①本村の観光振興の取組としては、県外における村のPR活動や、那覇市でのフェアの実施など、様々な事業を行ってきた。引き続き地域資源を活かし、本村の課題である素通り観光の脱却に取り組んでいく。②これまで関連する各種事業の取組など、連携を図りながら活動を展開してきた。村観光協会の主な役割としては、村の観光情報の発信や案内などの役割を担っていたべく組織だと認識をしている。

問

県外、県内においてどんなPR活動を行っていたきたい。村にはいろいろな農作物があるので、物産展の今帰仁版、県の産業まつ

答 村長

村の観光を鑑みた場合、ジャングリア、今帰仁城跡など、観光資源を活用し体験滞在型プログラムも拡充し、広報活動をしっかりと強化していきたい。村全体の観光振興と地域の経済の活性化第1、2次産業も含めて、しっかりと連携強化していきたい。





根路銘 弘美 議員

問1 妊婦のケア

妊婦歯科健康診査について。

答 村長

妊婦歯科健康診査については、歯や口腔の健康を保つことが母子の健康にとってもたいせつであると認識しており、妊娠期間中の歯科健康診断や歯科受診を積極的に推奨している。

問 どのような推進をしているのか。

答 健康づくり推進課長

妊婦歯科健康診査のメリットは妊娠期間に関してはホルモンの変化によって歯ぐきが腫れやすくなったり、歯周病リスクも高まることから母子手帳発行時や産前の訪問指導の際にその重要性和事前の歯科検診について積極的に推奨し指導助言をしている。

問 産後ケア利用券を出産前に発行可能か。

答 健康づくり推進課長

産後ケアが出産後の支援サービスである為、利用券を発行する際に出産及び本村への住民登録の確認などが必要であることから出産後の発行となっている。

問 北合町では妊娠8ヶ月28週を超えたあたりから申請ができるという事例があるが産後は忙しくなるので、出産前の申請を検討頂けるか伺う。

答 健康づくり推進課長

本村においても産後ケア事業は産後に該当する事業であるが、利用申請に関しては事前の受付も行っている。また家族からの申請も受け付けている。出産の確認後すぐ使えるよう早期申請を勧めている。

問2 特定健康診査

前立腺がん検査オプションの予定はあるか。

答 村長

現在集団検診において希望する方に対し検査を行っている。

問 男性のがんでは前立腺がんが一位となっている60歳以上が多いという結果もでている。女性の場合は子宮がん、乳がんの検診が2年毎に案内される。男性は自覚症状があってもなかなか病院に行かない予防や早期発見の為に多くの男性がオプションで検診を受ける為にどのような方法で周知できるか伺う。

答 健康づくり推進課長

県では前立腺がんが第二位となっている。村は特定検診のオプションとして入れているが、国が推奨するがん検診に含まれていないため、実費負担となっている。積極的にオプション検診で行えることを示していきたい。

問 骨粗鬆症検査の予定はあるか。

答 村長

これまで集団検診の中でオプション検査として検討してきたが、検診委託機関との調整や検診後のフォローアップ体制の構築等の課題があり実施に至っていない。

問 骨折をすると介護を必要とする頻度が高くなるが骨粗鬆症検査を検診の中で行うという計画はないという

事だが今後前向きに実施していくという事で捉えてよいか。

答 健康づくり推進課長

北部保健所の主導で市町村の意見交換会も今年度実施していくところである。本村としてもこの辺の動向に関して注視しながら実施の可能性があるなら前向きに検討していきたい。

問3 今帰仁村内の美しい浜の景観保持

ビーチクリーン対策はどのようにしているか。

答 村長

県の海岸漂着物等など補助事業を活用するなど一年を通して海岸漂着物など回収活動を行っている。

問 ビーチクリーンボランティア申し込みは年に何件あるか。

答 村長

令和6年度においては団体個人合わせて56件あった。

問 手袋やトング貸し出しも検討いただけるか伺う。

答 住民課長

今後十分検討していきたい。

問 神奈川県逗子市の浜には気軽にビーチクリーンができるように看板と共にトングやごみ袋が設置してあるのを参考に健康ウォーキングの際、ごみを拾いながら歩くことを提案したいが見解を伺う。

答 住民課長

大変いい事例を紹介いただいたと思う。ボランティアでごみ拾いを行うことでごみが環境に与える影響を考える機会であったり環境問題への当事者意識地域への愛着など効果は出てくると思う。いい事例として参考とさせてもらいたい。

問 村の景観の豊かさを守っていくために今後村民と一緒にやって取り組んでいく意気込みをお聞かせ願いたい。

答 村長

村内の美しい浜の景観保持についてボランティア、企業ともしっかりと連携をしてそれぞれの強みを生かしてより効果的、効率的な美しい浜、原風景をしつかりと維持していくよう目的を置いて持続可能な社会の実現に向けて貢献できる取り組みをしていく。

問1 自動車管理規程

マイクロバスの使用基準について過去3年間に於ける使用件数を伺う。

答 教育長

過去3年間に於ける使用件数については令和4年度74件、令和5年度93件、令和6年度86件となっている。

答 村長

過去3年間に於ける使用件数については令和4年度30件、令和5年度82件、令和6年度156件の計268件となっている。

問 使用が認められている団体の種類や条件について伺う。

答 教育長

使用が認められている団体については村内の学校、子供会、区長会などとなっている。条件については免許を有する者、公務を優先し教育委員会所有マイクロバス使用基準に基づき、申請による許可制となっている。

答 村長

使用を認められている団体については、村内公立の学校、村青年会、村婦人会、村老人クラブ連合会などとなっている。条件についてはマイクロバスを運転するための免許を有する者でなければならぬ。公務に必要な場合は使用許可を取り消すことができるなど、マイクロバス使用基準に基づき、申請による許可制となっている。

問 教育委員会は利用可能とあるが、役場のマイクロバスは使用可能か伺う。

答 総務課長

要綱の中に、営利団体には許可できないという禁止条項が第7条にあり、営利団体のバス使用は禁止するという捉え方を民間と捉えると難しい。

問 民営化の目的が保育サービスの充実である以上、妨げとなる制度は見直すべきではないか。

答 総務課長

保育サービスの充実の観点から重々理解できる。どの観点から受け止めるか、運用面での考え方を整理し、子どもたちの利用を広げられるか議論、精査を行い教育委員会と基準要綱を照らし合わせながら要綱の見直しに

答 学校教育課長

平成21年以降の民間保育園、保育所の使用については第2条第1項第14号に、村内に拠点を置く非営利団体、

についてはしっかりと意見交換をし、反映させていきたい。



問2 平和の森公園

慰霊塔の移設や平和の森公園の整備計画についてどのような進捗か伺う。

答 村長

慰霊塔の移設や平和の森公園については、立地環境などの調査・検討を行っている。

問 後世に平和の尊さを伝えていく重要な施設だと思つ。迅速な取り組みが必要だと考えるが、どのような決意をもって臨まれるか伺う。

答 村長

未来へ戦争の記憶と平和の祈りを紡ぐためにも、心よりどこをしっかりと設置して慰霊塔の移設と平和の森公園整備実現に向けしっかりと前に進めていきたい。

問3 里道

村道今泊今帰仁原線と村道親泊線間を接続する里道側溝の改善について、工事を行う予定はあるか伺う。

答 建設課長

簡易舗装と排水を改善する予定で、道路内に個人用地が点在しており、測量後に地権者の同意が得られれば工事に入れると考える。



座間味 薫 議員

議決結果・賛否一覧表														
「○」：賛成「×」：反対「欠」：欠席「退」：退席「公」：公務の欠席「病」：法定伝染病の欠席。 議長は採決に加わらないため斜線としていますが、可否同数の場合に採決権があります。														
議案番号	議案	議決結果	議席	1	2	3	議長	5	6	7	8	9	10	11
			氏名	座間味靖	根路銘弘美	島袋輝也	上原祐希	石嶺美奈実	上間聰	島袋誠	與那勝治	座間味薫	山城太	東恩納寛政
令和7年 第4回臨時会 令和7年8月18日（月）														
議案第38号	令和7年度今帰仁村一般会計第3回補正予算について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年 第3回定例会 令和7年9月9日（火）														
議案第46号	今帰仁村保健センターの設置及び管理に関する条例を廃止する条例について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第47号	工事請負契約について（古宇利大橋伸縮管更新工事）	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第48号	工事請負契約について（今帰仁村保健センター改修工事）	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第49号	工事請負契約について（今帰仁小学校旧校舎解体工事（2工区））	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第5号	専決処分の報告について（今帰仁小学校校舎整備外構工事（1工区））	報告	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第6号	令和6年度沖縄県町村土地開発公社事業報告及び決算報告について	報告	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第7号	令和6年度決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	報告	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年 第3回定例会 令和7年9月19日（金）														
議案第39号	今帰仁村個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第40号	今帰仁村職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第41号	今帰仁村職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第42号	今帰仁村附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第43号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第44号	今帰仁村学校給食センター設置条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第45号	今帰仁村ふるさと基金の設置、管理及び処分に関する条例等を廃止する条例について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第50号	物品購入契約について（今帰仁村防災行政無線放送設備他）	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第51号	村道路線の廃止及び認定、変更について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第52号	令和7年度今帰仁村一般会計第4回補正予算について	可決	○	○	○	/	×	○	○	○	○	○	○	○
議案第53号	令和7年度今帰仁村国民健康保険特別会計第2回補正予算について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第54号	令和7年度今帰仁村後期高齢者医療特別会計第1回補正予算について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第55号	令和7年度今帰仁村水道事業会計第1号補正予算について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第1号	令和6年度今帰仁村一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第2号	令和6年度今帰仁村国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第3号	令和6年度今帰仁村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第4号	令和6年度今帰仁村水道事業会計決算認定について	認定	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年 第5回臨時会 令和7年10月21日（火）														
議案第56号	令和7年度今帰仁村一般会計第5回補正予算について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○

8/18(火) 正副議長・正副委員長研修会

南風原町



講演 「議会議員のなり手不足と女性議員の議会参画」他
講師 全国町村議会議長会企画調整部長

10/16(水) 町村監査功労者表彰式・監査委員全国研修会

東京都



講演 「監査実務のポイントについて」他
講師 茨城県水戸市監査委員事務局長

11/12(水) 第69回町村議会議長全国大会

東京都



全国大会に出席した県北部町村議会議長

9/12(水) 今帰仁小学校新校舎現場踏査



10/8(水) 町村議会議員・事務局職員研修会

西原町



講演 「議員の役割と負託される職務」他
講師 全国町村議会議長会議事調査部長

11/5(水) 監査委員・監査事務局職員研修会

那覇市



講演 「町村監査の使命と実務」他
講師 福岡県大刀洗町専門委員

今帰仁村議会報告会・住民意見交換会

村議会の取組みや村政のことを報告し、住民と意見交換するため、報告会・住民意見交換会を開催します。どなたでもご自由に参加できますので、ご家族、ご友人をお誘いあわせの上、お気軽にお越しください。日ごろ感じている皆さまのご意見をお聞かせください!!

※予約の必要はありません。

◆日時：令和8年1月16日(金) 18:30～20:00

◆場所：村コミュニティセンター2階ホール

◆問い合わせ先：村議会事務局 0980-56-4397



12月定例会日程(予定) 会期:令和7年12月10日(水)～18日(木)

・一般質問 12月11日(木)、12日(金) ・議案審議 12月16日(火)、17日(水) ・討論、採決 12月18日(木)

※議会で行われる本会議の様子をYouTube配信しております。議会傍聴に来ることができない方は、村HP(村議会のページ)をご確認いただき、ご視聴ください。傍聴される方は、席の場所によっては、配信映像に映る場合がありますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

※日程は、変更することがあります。傍聴に来られる際は、日程の変更がないかご確認ください。(議会事務局 ☎0980-56-4397)

編集後記

9月定例会では決算審査特別委員会が開かれ、令和6年度の一般会計・特別会計などの審議が行われました。担当職員の皆さんの資料作成や、村監査委員による6日間にわたる審査、大変お疲れさまでした。

審査の結果、「概ね法令、条例、規則等に違反することなく処理されていることを確認した」と報告されています。一方で、審査意見やむすびでは課題も指摘されています。「実質収支比率が1%というのは、財政に弾力性の余地がほとんどない状態である」「新庁舎建設事業、今帰仁小学校建設事業等の償還も控えているため、財政運営には十分な配慮が求められる」などです。

議会には、村当局の財政運営をチェックする重要な役割があります。今後も議員として、予算が適切に執行され、住民の福祉向上につながっているかを注視し、その責務を果たしていきたいと思います。

(議会広報委員長 座間味 靖)

広報委員長 座間味 靖
副委員長 根路銘弘美
委員 島袋 輝也
委員 上間 聡